

公開授業を行いました

第3回市教研では、3会場に分かれて、公開授業を行いました。授業後の全体会では、子供への支援、取り扱う材料や場の設定など子供たちの表したい思いを引き出すための“よりよい手立て”について話し合が行われました。

【1年生】「いっぱいつかって なにしよう」

和田東小学校 斎藤 光 教諭

和田東小会場では、1年生の題材である造形遊び「いっぱいつかってなにしよう」をもとに公開授業を行いました。洗濯ばさみを組み合わせたり、並べたりして子供たちは思い思いの形を作っていました。出来上がった作品からは子供たちの自由な発想やこだわりを見取ることができました。全体会では、机間指導中の声掛けの仕方やまとめの場面での価値付けの仕方を中心に話し合いを行い、活発な意見交流が行われました。



【3年生】「立ち上がった絵のせかい」

伊佐見小学校 斎藤 聰明 教諭

伊佐見小会場では、3年生の題材である絵に表す領域の「立ち上がった絵の世界」をもとに公開授業を行いました。子供たちは、両面に色がついた色紙を用いて紙の立たせ方を確認し、実際に紙を立ち上げたり、覗き込んだりしながら作品制作のイメージを膨らませていました。

全体会では、製作に使う紙の材質や折り方、“製作の自由度をどこまで制限するか”を中心に話し合い、活発な意見交流が行われました。



[2年生]「しんぶんしなかよし」

二俣小学校 和田 淳也 教諭

二俣小では、2年生の題材である造形遊び「しんぶんしなかよし」をもとに公開授業を行いました。子供たちは、45分間、新聞紙からはなれることなく、活動に没頭している姿が印象的でした。ちぎった新聞紙を天井に向かって投げ、落ちてくる様子を体で受け止める活動を楽しむ子、想像の世界でつくることを楽しむ子、お店、まくら、など具体的なものをつくりたいと思う子など、様々な姿が見られました。

全体会では、今日の子どもたちの姿をどう評価していくのか、造形遊びの基本的な考え方、よりよい指導の仕方について話し合いました。

